

令和5（2023）年8月

令和5年度 主要港督励巡視 船内班 結果報告



報告者：港湾労災防止協会 兵庫県総支部 督励巡視団員
山下 裕行

【 東京港 】
 2023年7月18日(火)
 《第一日目》 天気(晴れ) 気温(37.2度)
 (発表者：兵庫県総支部 山下 裕行 書記役：千葉支部 鈴木 直人)

作業会社名：原田荷役会社
 作業場所：
 作業内容：コンテナ揚げ荷役
 <本船名>

- 1 船目：SINOTRANSU KAOHSING (原田荷役)
- 2 船目：CNC SULAWESI (大洋マリン)

良 か っ た 点	<p>良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場 6S →岸壁、デッキ通路上の足元・歩行通路がきちんと確保されていた。 荷役道具・ターンバックル・ラッシングバー等も邪魔にならない場所にきちんと収められていました。 ・熱中症対策 →個人ごとにきちんと水分・水筒を携帯し、的適度に補給されていた。 水分が無くなった時にジャグも準備しており、すぐに補給できるようになっていました。 WBGT測定器も乗船タラップの管理版に設置されており、全員が一目で確認できるようになっていました。 注意喚起の看板・トラロープ等で立ち入禁止措置が実施されていた。 ・表示関係 →通路上の危険な箇所に【足元注意】の注意喚起の張り紙等が設置されていた。 車両通行箇所・歩行通路にもそれぞれ役割別に注意喚起の看板が設置されていた。 スプレッター移動方向が明確にされていた。 注意喚起の看板・トラロープ等で立ち入り禁止措置が実施されていた。 ・危険予知 →役割毎に危険予知がされており、ポイント箇所が赤字になっている事でポイントが一目で把握しやすくなっていた。 危険の内容についても内容を知らない人でも一目でわかるようにわかるように工夫されていた ・合図 →岸壁・船内ともガントリークレーンオペの見える位置でしっかりと合図を行っていた。 地切一旦停止を確実に実践できていた。
改 善 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・合図方法にバラツキがあるので、基本合図の演練等で意識付けしてはどうか。 《回答》 合図方法の見直し、統一ということで全員を集め基本合図の演練を行い、合図の統一を周知していきます。
質 問 事 項	<p>1.コンテナ船でのフルハーネスを着用、使用する際はどのような場面で使用しているのか？ 《回答》 ホールド作業時にハッチを開けた状態でデッキマンが合図する際、ハッチ上にある親網にフルハーネスを取りガントリーマンに無線合図をしています。 サイドラッシングする際には必ず親網を取り、それにフルハーネスを掛けデッキ上からの転落防止をしています。</p> <p>・合図者が手合図をする際はどのような時にするのか？ ・無線機を使用しての合図はどのような時に使用するのか？ 《回答》 クレーンオペからデッキマンが確実に確認できる位置にいる際は手合図と無線機を使用しての合図を併用しています。</p> <p>【手合図】 《回答》 ハッチ蓋をつかみロックを確認した際。 上屋が狭いためデッキ上に 蓋を移動させ置く際。 トレーラー上に異常無くコンテナを着床させた際。</p> <p>【無線機合図】 《回答》 クレーンオペからデッキマンが確認できない状態の際。 ホールド作業時クレーンオペからホールド内が確認できない時。 特殊コンテナ荷役時。</p> <p>2. 無線機を使用されている方はどのような役割りで一隻あたり何人持っているのか？ 《回答》 本船荷役で使用している無線機はハンズフリータイプの物を使用しクレーンオペ・デッキマン 上屋合図者に各一台ずつ、合計三台を使用して細かく連絡を取り作業しています。</p>



督励巡視パトロール結果報告書

【 清水港 】

2023年7月19日(水)

《第二日目》 天気(晴れ) 気温(34.6度)

(発表者：大阪総支部 原田 達三 書記役：東京総支部：宇野 綾)

作業会社名：

作業場所：興津第一埠頭4号岸壁

作業場所：袖師第一埠頭12号岸壁

作業内容： だいゆう (コイル揚げ荷役)

津島 (石灰石揚げ荷役)

<p>良 か っ た 点</p>	<p>だいゆう(コイル揚げ荷役)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑い中での作業だったが服装の乱れも無く作業できていた。 ・指差呼称もしっかりと行われ合図も良好でした。 ・艦内、岸壁ともに大型の送風機を設置し熱中症対策として活用していた。 ・トレーラー運転手はトレーラー停止後に歯止めを確実にできていた。 (自社で作成した車止めを使用) ・コイルを巻き上げる際に当て物(緩衝材)を確実にし他のコイルに傷がつかないようにしていた。  <p>津島(石灰石)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮の干満に対応できるようにタラップに昇降台を利用してよかった。 ・本船バケットからホッパーに石灰石を投入する際、ダンプトラックをマイクにて呼びかけ待機させていたのがよかった。 
<p>改 善 事 項</p>	<p>だいゆう(コイル揚げ荷役)</p> <p>転落防止措置が不十分だった トラック上での運転席側(前方)に作業台が設置したほうが良いのでは？ 《回答》 作業台を変更してトレーラ荷台をカバーできるように改善していきます。</p>  <p>・艦内の退避場所がブームの旋回範囲に近いと感じた (旋回方向からの退避は確実にできていたがブーム下で作業者が退避をしていた) 《回答》 今回の作業に1名若年者が入り作業していました、その者が退避不十分だったと思います。 社内で艦内合図者にもう一度安全教育を実施し新入社員に対しても新人教育の見直しをしていきます。</p>
<p>質 問 事 項</p>	<p>津島(石灰石)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブルーシートの張りが緩く感じたが何か理由はあるのか？ どうしても揚げ作業をしていれば本船自体が上がってくるのでそれに合わせ緩めに海落防止シートを緩めに設定しています。今後、荷役作業中にも海落防止シートの状態も確認して作業を進めると共に海落防止シートの検討を進めていきます。

督励巡視パトロール結果報告書

【 大阪港 】

2023年7月20日(木)

《第三日目》 天気(晴れ) 気温(33.6度)

(発表者：大阪総支部 膽吹 剛治 書記役：東京総支部：宇野 綾)

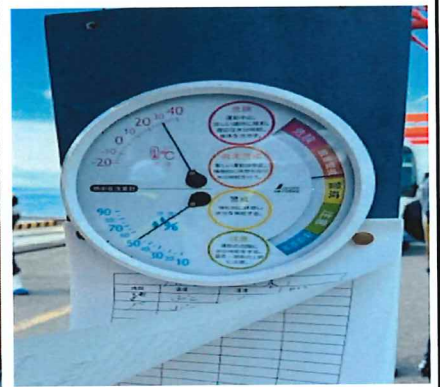
作業会社名： 大阪港湾作業(株)

作業場所： DICT夢洲コンテナターミナル

作業内容： ホールド内コンテナ揚げ荷役

- ・熱中症対策がされており大変良かった。(タープテントの設置・クーラーボックスに氷等)
- ・ガントリークレーンでは十分な高さまで巻き上げ後、横行され安全に佐合できていた。
- ・シャーンに着床させる際、丁寧な操作がされていた。
- ・立ち入り禁止措置がしっかりとされていた。(カラーコーン等による表示あり良好)
- ・誰が見てもわかるように作業手順書が掲示されていた。

良
か
っ
た
点



- ・ヤード内のセンター通路で一時停止標識はあるが、トレーラーが一時停止せず走行。
(注意是正)



《回答》

毎月の各社安全会議の中でそのような作業をされている店社さんがいれば注意是正し、各社の安全会議等で検討会を行い再教育を行っていきます。
外来シャーンにつきましては、ルール無視の車両の車番を控え該当社に連絡しヤード内のルールを守るように注意してもらうように、要望を出していきます。

改
善
事
項

- ・タープテント内に設置されていた熱中症注意計を1時間ごとにチェックし記入されていましたが、現時点では嚴重警戒値を表示していました。
まだ午前中ですが昼からの作業以降かなり暑くなるのが予想されます、熱中症注意計が危険を示した際にはどのように対処をしていきますか。

《回答》

まず作業主任者に報告を入れてインターバルを取るよう連絡をします。本船のスケジュール等のことがありますので作業自体を止める事は出来ないで交代でインターバルを取り作業を進めていくようにしています。

質
問
事
項

作業会社名：門司港運(株)

作業場所：門司6号岸壁

作業内容：中国産大豆粕揚げ作業

本船名：RUI YANG

良
か
っ
た
点

- ・岸壁にKYボードを掲示し一目でわかるようしていた。
- ・ベルトコンベアー付近にカラーコーンで立ち入り禁止措置がされており良好でした。
- ・熱中症対策
岸壁に休憩所を設置されており飲み物、塩飴等も常備されていました。
スポットクーラーも設置されており良好でした。
- ・沖側通路に脚立が設置されておりその脚立もロープで固縛して倒れないように固定されており良好でした。
- ・作業前に酸素濃度を測り酸素濃度測定記録表に1番ハッチ、2番ハッチ共に時間・作業準備前・作業開始前・作業中をしっかりと記入されており良好でした。
本船乗船前に分かり易い説明をされて大変良かった。



改
善
事
項

- ・昇降用タラップ(本船設備) がかなり急角度で昇降が大変危険。
ラダー式のほうが良いのでは？
《回答》
この本船は初入港船で昇降設備等の連絡は無かったのでこちらの準備不足です。
船社に昇降タラップの変更を要望してみます。それまでの期間として岸壁側に
パレットで高さを出しタラップが急な角度にならないように対策していきます。
又、要望が通らないようであれば自社で昇降用のタラップを作成し使用するよう
に検討を進めていきます。
- ・デッキ上での合図者が無線で合図をしていたが艀内の重機がバケット
(吊り荷) の下に入って作業をしていた。
《回答》
吊り荷(バケット)の移動方向に入り作業をさせていたのは合図者に注意し是正します、
重機オペは無線機を使用しての作業ですが、もし重機オペに声が届かないようであれば
レッカーの運転手に無線で作業を止めるように連絡します。
- ・海落防止シートを使用していたが幅が不足している為、製品が会場に落ちていた。
(もっと横に長いシートを使用してみてもどうか)
《回答》



海落防止シートにつきましては二日目の揚げ作業で本船の足が軽くなり本船自体が
上がってしまった事と満潮時刻と重なり海落防止シートが足りないようになって
しまいました。次回入港するまでに海落防止シートを準備し作業をしていきます。

質
問
事
項

- ・艀内の重機オペレーターがタオルを顔に巻いて作業していました防塵マスクは使用して
いるのか？
《回答》
防塵マスクは使用していませんので社内で作業に最適な防塵マスクを検討し使用する
ようにします。
- ・艀内重機オペレーターは無線機を使用しているようだが、聞こえているのか？
《回答》
重機オペレーターはイヤホンタイプの無線機を使用して作業しています、もし聞こえ
無いような事があれば作業主任者からレッカーの運転手に連絡して作業を止めるよう
しています。

